

10月メディア総局長定例記者会見要旨

先週11日の経営委員会で大筋が了承された中期経営計画の修正案に関連して、メディア総局長の立場から一言申し上げる。ご存じの通り、受信料について、衛星波だけでなく地上波も含めた値下げを実施する。このため、事業収支の見通しを今の経営計画から下方修正している。これは大変重い、大きな決断だった。事業収入が減少するわけだが、その分、これで勝負すると決めたものに人と金を集中させることで、より質の高いものを作り、視聴者のみなさまにお届けできると考えている。前田会長も先般の記者会見で申した通り、NHKの命はコンテンツ、その質は落とさない。ここに経営資源を集中させていくことは今後も変わらない。そのためにも、ジャンル管理をさらに深化させるとともに、マーケティング分析も踏まえながら、コンテンツの価値を最大化していくことに引き続き力を入れていく。

また、衛星波については、BS1、BSプレミアム、BS4Kの3波を、来年12月に、ハイビジョン画質の「新BS2K」と、4K画質の「新BS4K」の2波に再編することになる。BS2K2波のうちの1波を再来年の2024年3月末には停波する計画だ。新BS4Kは、世界に通用する多彩なコンテンツを高精細なクオリティでお届けする。一方、新BS2Kは、現在のBS1とBSプレミアムの魅力を凝縮したチャンネルとしたいと考えている。これから詳細の検討を急ぐことになるが、この再編が、衛星放送の個々の番組の魅力を高め、サービス低下ではなく、サービスの向上だと、視聴者のみなさまに受け止めていただけるよう、視聴者意向調査なども行いながら、編成上の工夫やコンテンツの内容充実をはかっていく。

チャンネル名を含めて概要がお知らせできる段階になったら、また改めて報告する。

(1)公共メディアでお楽しみいただくスポーツの秋（林メディア総局長）

NHKでは、この秋、多彩なスポーツの中継や番組を予定している。中でも、アマチュアスポーツは、公共メディアとして放送などを通じて競技の振興やスポーツ文化を後押ししたいと考えている。11月は、剣道や社会人野球の日本選手権など、日本一を決める大会や六大学野球、大学ラグビー、それにNHK杯フィギュアなどバラエティに富んだ大会が目白押しだ。視聴者の方々に様々なスポーツを楽しんでいただける放送を目指していく。

もう一つ、私たちが大切にしているのが、地域との連携だ。経営計画でも、地域の情報発信強化を掲げており、この秋も地域に密着したスポーツ中継に力を入れている。今月8日には、J2のアルビレックス新潟のJ1昇格がかかった試合を、新潟県でローカル放送した際、多くの方にご覧いただいた。放送だけでなく、会場で応援メッセージを募集するなど、地域のみなさまに喜んでいただける取組みになったと考えている。

Jリーグは、今シーズンおよそ80試合のローカル中継を計画している。今月29日には、優勝のかかった「横浜F・マリノス 対 浦和レッズ」の試合を総合テレビで全国中継するが、近畿地方、佐賀県、広島県の3地域では、同じ時間帯に行われるそれぞれの地元チームの試合をローカル中継する。また、開幕したばかりのバスケットボールのBリーグでも同様の取り組みを行っている。今後もローカル放送を活用したスポーツ中継を行っていく予定なので、ぜひ楽しんでいただければと思っている。

最後は、日本時間の来月20日に開幕を迎えるサッカーの「FIFA ワールドカップカタール2022」について。NHKは、1978年のアルゼンチン大会から、試合を中継してきた。今大会、NHKはテーマとして「ワールドカップは、みんなの中にある。」を掲げ、みなさまに楽しんでいただくことを目指している。先日の会長会見で今大会の放送計画を紹介させていただいたが、本日は関連番組について紹介する。まず、開会式や開幕戦が行われる11月20日(日)にはNHKスペシャル「サムライブルー ワールドカップベスト8への道(仮)」を放送する。また、日本代表の森保一監督と宇宙飛行士の野口聡一さんとの対談番組も予定している。更に、「チコちゃんに叱られる！」や「みつけた！」などともコラボレートして、機運を盛り上げていく。

この秋、NHKならではのスポーツコンテンツを視聴者のみなさまにお届けし、公共メディアとしての役割を果たしていく。

(詳細は報道資料を参照)

(2)子どもと若者が主役！Eテレ秋の特別編成（熊埜御堂メディア戦略本部長）

NHKでは、今年度、平日ゴールデン帯や週末の夕方にファミリー向けの番組を編成し、また「君の声が聴きたい」キャンペーンを実施するなど、家族のコミュニケーションのきっかけとなる多彩な番組や、若年層を応援する様々な取り組みを展開している。きょうは、この秋お送りするコンテンツを紹介する。

まずは、Eテレの人気番組「ワルイコあつまれ」の2時間スペシャルを、10月29日土曜日夜9時から放送する。注目は、「子ども記者会見」というコーナー。Eテレ初出演となる、明石家さんまさんが登場する。さんまさんならではの、笑いの世界で活躍し続ける秘訣や、その人生観にも、子ども記者が鋭く切り込む。また、「タイムスリプトーク 慎吾ママの部屋」のゲストは、俳優・山本耕史さんが演じる土方歳三。かつて大河ドラマ「新選組！」で主役の近藤勇を演じた香取慎吾さんとの共演になる。

また、11月は、「世界こどもの日」関連の番組を編成する。11月20日は、国連が制定した「世界こどもの日」で、毎年世界各地で子どもの権利と未来に関するイベントが開かれている。NHKでは、この日を中心に、子どもたちを応援する番組を多数放送する。子どもたちの相互理解につながるコンテンツとして、NHKのSDGsソング「ツバメ」の英語バージョンを制作した。世界23か国の子どもたちがダンスを披露し、セサミストリートのキャラクターも登場する動画は、ユニセフやJICA、セサミストリートのホームページやSNSを通じて、世界にも発信されることになっている。

ミドリーズと一般公募の子どもたちが歌う「ツバメ」の新たなミュージックビデオも作成する。テーマは「私たちの夢」。障害や国籍など、様々な背景をもつ子どもたちの夢を形にしたものだ。制作過程を追ったドキュメントを、Eテレの「リフォーマーズの杖・世界こどもの日プロジェクト(仮)」で11月28日に放送する。

このほかにも親子で楽しめる特集番組を多数放送する。

NHKはこれからも子どもや家族を応援するコンテンツをお届けしてしていく。

（詳細は報道資料を参照）

(3)BS4Kの魅力を体感 特別編成とイベント（林メディア総局長）

続いては「NHK BS4K」に関する特別編成とイベントについて説明する。経営計画の修正案で、来年12月1日に、衛星波の再編が行われると示した。NHKにとって、4K波はこれまで以上に衛星波を支える重要な存在になってくる。きめ細かな美しい映像、そして臨場感あふれる音声といった4K放送の魅力をもっと多くの視聴者のみなさまに知っていただくため、来月、集中的に放送やイベントを展開する。まず、11月21日から25日にかけて、BS4Kで独自の特別編成を行う。「BS4Kエンタメスペシャルウィーク」と題して、人気アーティストのライブやインタビューを19時から5夜連続で放送する。この5本は過去に放送してご好評をいただいたもので、ボーイズグループのJO1や小泉今日子さんなど豪華5組が登場する。（※その後、編成上の理由で4本に変更）4K映像ならではの迫力あるパフォーマンスとこの番組でしか見られない貴重な映像をお楽しみいただきたい。このほか、すでに発表しているが、サッカー「FIFAワールドカップ」、カタール大会やNHK杯フィギュアの放送もあるので、ご期待いただきたい。

そして、11月22日と23日には、4K映像の魅力を多くの方に体感していただくため、東京・港区の会場で、国内最大級の4K対応スクリーンを使った、NHKの人気番組の上映会と、出演者などのトークショーを行う。22日は、連続テレビ小説「舞いあがれ！」を上映する。主人公と航空学校で切磋琢磨していく矢野倫子役の山崎紘菜さんをお招きして、ドラマの見どころをお話しいただく。また、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の上映会も行う。こちらは源実朝を演じる柿澤勇人さんと公暁を演じる寛一郎さんをお招きする。ドラマでは、おじとおいの関係で、今後の物語のカギを握るお二人に、クライマックスに向けた見どころをご紹介いただく。さらに、「大相撲」や「新・BS日本のうた」など、いずれも4Kでこそ、ご視聴いただきたい番組を集めている。

このほか会場のロビーで、番組のパネルの展示などを行う。ぜひ足を運んでいただければと思う。

来年の再編以降、「新BS4K」では、世界に通用する高精細で多彩なコンテンツを提供していく予定だ。今後も4Kならではの体験をしていただける、魅力あるコンテンツの制作に取り組んでいく。

（詳細は報道資料を参照）

(4)今日は一日「川口アーカイブスレコード、三味（山内メディア戦略副本部長）」

続いて、NHK アーカイブスから、とっておきを蔵出ししてお届けする特集番組を紹介したい。

NHK の映像資産については、これまでも、この記者会見などを含め、色々な機会に紹介してきた。実は、音声、過去の貴重な音源も大切な資産だ。埼玉県川口市にある NHK アーカイブスには、昭和初期から番組で使用してきたさまざまなジャンルのアナログレコードおよそ30万枚が保管されている。NHK アーカイブスの映像と音声は、公共放送として長い歴史を重ねてきた NHK が保管する貴重な公共財でもある。その価値をお客様に還元していきたいと考えている。

今回は、11月3日が「レコードの日」でもあることにちなんで、貴重なアナログレコードを存分に堪能していただく番組をお届けする。「今日は一日、「川口アーカイブス・レコード」三味」。最近の放送ではCDを使うことがほとんどだが、アナログレコードには、独特のやわらかで味わい深い音色という特性がある。ここ数年、世界中でアナログレコードがブームになっていることはご存じの通りだが、特に日本のレコードは人気がある。番組では、CD化されていないレア盤やユニークな色や形のレコードなど、レコードファンにとってはたまらない、とっておきのアルバムを選びすぎり、紹介する。このうちアーカイブスに保管されている1972年の『全国フォーク音楽祭全国大会』の実況録音版のアナログレコードには、デビュー前、大学3年の時の中島みゆきさんの貴重な歌声が録音されている。

ゲストをお迎えしてのコーナーもあり、その一部は、あらかじめお申込みいただいた方に観覧していただく生公開タイムを予定している。ベテランのスタッフが見事な手さばきでレコードに針を落とす、そういったものも楽しんでいただきたい。なお、聞き逃した場合は、ネットラジオ「らじる★らじる」でお楽しみいただける。

ラジオというと、災害などいざという時に頼りになるメディアとして、みなさまに親しまれていると思うが、それだけでなく、普段からもっと身近に感じて頂きたい。そのきっかけに今回の番組がなればと思っている。

(詳細は報道資料を参照)